

安全上の ご注意

必ずお守り下さい


製品を安全にお使い頂くために、ご使用前に必ず本紙をお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、お読みになった後は大切に保管して下さい。本紙ではお客様や他の人々への危険・財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。


■表示内容を見逃して誤った使い方をした際に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性・又は物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

お手入れ・アフターサービス

- ご使用後は濡った布で汚れを拭き取った後、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に、海岸や温泉地域でのご使用後は、そのままの状態では放置すると錆や故障の原因となりますのでお気をつけ下さい。
- 雨などで三脚が濡れてしまった場合は、乾いたきれいな布で水分をよく拭き取り、脚部は全段を伸ばして濡れた場合は、一度点検に出すことをお勧めします。お客様ご相談センターまでご連絡下さい。
- 清掃の際は、シンナー等の薬品は使わないで下さい。
- 修理または部品を紛失した場合は、販売店か下記のお客様ご相談センターへ直接お問い合わせ下さい。本製品の性能部品は製造終了後5年を目安に保有しております。(この期間後であっても修理可能な場合もございます)
- 製品や保証について等、疑問に思うことがあれば下記のお客様ご相談センターまでお問い合わせ下さい。

(修理受付)

お客様ご相談センター

〒408-0205

山梨県北杜市明野町浅尾新田12


電話: 0551-25-6155

E-Mail: jpsupport@velbon.com


※ For Japanese Market

ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために


警告

 可変石突等のスパイクを備えた三脚や一脚を持ち運ぶ際は、安全のため必ずゴム石突に変換するか、ケースやレグポシェット等を使いスパイクがむき出しにならないよう気をつけて下さい。死亡や大ケガの原因となります。電車内等で周囲に人が多い場合は、いっそうの注意が必要です。




 三脚には推奨積載質量が設定されています。必ずその範囲内のカメラを使用して下さい。特に、雲台がセットされた三脚自重の2倍を超えるカメラを使用すると、安定性が極端に悪くなりますのでご注意ください。三脚が転倒し死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またカメラブレの原因にもなります。




 カメラを装着したまま脚の伸縮調整や雲台の操作をする際は、必ずカメラを手で支えながらおこなって下さい。三脚やカメラが不意に動きカメラを破損したり、指や手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。カメラ形状によってはバランスが取りにくい事もありますので、十分気をつけて下さい。




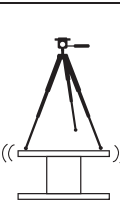
 三脚の設置・操作については十分に注意しておこなって下さい。あやまって指や手をはさむとケガにつながります。また、各ロック箇所やストッパーが緩んでいないか、再度確認して下さい。不意に三脚が縮んで転倒し、カメラが破損する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、確かめながら操作して下さい。




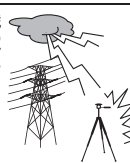
 三脚は撮影用の機材です。絶対に、三脚の上に腰掛けたり乗ったりしないで下さい。転倒し、死亡や大ケガにつながります。また一脚を杖がわりにして歩行補助の器具にするような行為は、不意に脚が縮み転倒するなどして大変危険です。思わぬ事故につながりますので、絶対におやめ下さい。 ※強度的にも大変危険です。




 ぐらついた台の上や、不整地・傾斜面等の不安定な場所で三脚を使用する場合は、十分に注意して下さい。特に、高位置での使用の場合、頭や足の上部に落下すると、死亡や大ケガにつながる恐れがあります。必ず三脚を設置する前に、設置場所や周囲の状況をよく確認して下さい。近くを人が行き来するような場所での使用も注意が必要です。




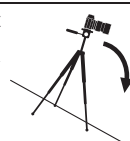
 三脚や一脚は金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので、通電します。高圧線等、電気が通っている物の近くでは使用を避けて下さい。また落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないで下さい。そのような場所では撮影をやめ、すみやかに避難して下さい。




 三脚や一脚を、小さなお子様の手の届く場所に設置・保管しないで下さい。あやまって指や手をはさんだり、三脚が倒れて死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またベルトやストラップのある製品については、お子様の首に巻きついたりしないよう、しっかり確実に管理して下さい。




 三脚にカメラを取り付けたまま放置してその場を離れることや、三脚を場所取りのために利用することはお避け下さい。他の人や車の通行の妨げになったり、ぶつかってケガをさせてしまったり、倒れてカメラが破損する恐れがあります。

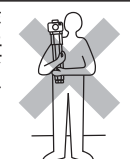



 三脚の使用時は、3本の脚を十分に開いて下さい。脚の開きが不十分だと、不意に三脚が倒れケガや破損の原因となります。また不安定な状態での使用は、カメラブレの原因にもなります。

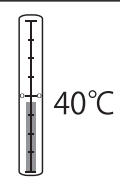



注意

 三脚や一脚にカメラを装着したままでの移動はお避け下さい。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。特に、カメラを装着したまま三脚や一脚を肩に担いで移動すると、カメラが視界に入らないので大変危険です。移動時は必ずカメラを外して下さい。




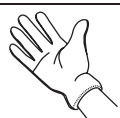
 製品の使用温度範囲は、0℃～40℃となっています。この範囲を超えるると高温下ではオイル漏れをおこしたり、低温下ではパン・ティルト動作が重くったりして、十分な性能が発揮されない場合があります。高温多湿な場所や直射日光が当たる場所、自動車内等には決して製品を放置しないで下さい。




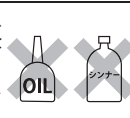
 各部ストッパー・ネジやハンドル棒・固定レバー等は、必要とき以外には確実に締めてご使用下さい。ネジやレバーが緩んでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。また、緩んだ状態で移動すると、ネジ等を落として紛失する可能性があります。




 冬場の撮影や寒冷地でのご使用においては、金属部分が凍結する恐れがありますので、素手では操作しないで下さい。「カメラグロブ」等の撮影用手袋を用いることをお勧めします。




 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないで下さい。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お客様ご相談センターまでご連絡下さい。




 製品に水や砂が付いたまま使用を続けると、可動部から中に入り故障の原因となります。汚れた場合は、きれいな布でよく拭き取って使用して下さい。脚パイプが濡れてしまった場合には、必ず拭いた後によく乾かして下さい。




 三脚や一脚を壁に立て掛けたり、脚を閉じた細身な状態で立ておくと、不意に倒れる恐れがあり危険です。できるだけ横にして(寝かせて)置いて下さい。




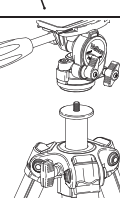
 長期間使用しなかった場合や大切な撮影の前には、必ず事前に各部を点検してから使用して下さい。また高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。その際はお客様ご相談センターまでご連絡下さい。




 製品の水準器は、あくまで撮影の目安として装備されているものです。計測用途や業務用途での精密使用には適していませんのでご注意ください。



 雲台の取り外しが可能な製品の場合、雲台を交換することができます。雲台(三脚)の全てのストッパーやハンドル棒をしっかりと締め、雲台全体を反時計回りに回すと外れます。この時、雲台に顔を近づけているとハンドル棒などにぶつかり大変危険です。十分に注意して作業して下さい。

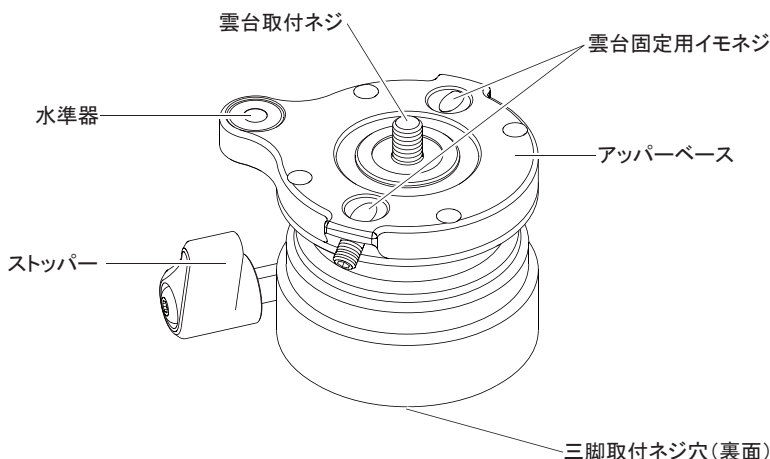


 製品の分解・改造等をしてしないで下さい。異常動作により、ケガや破損の原因となります。また分解・改造をした製品については、たとえご購入直後でも正規保証を受けられなくなりますので、その点もご注意ください。



各部の名称

このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

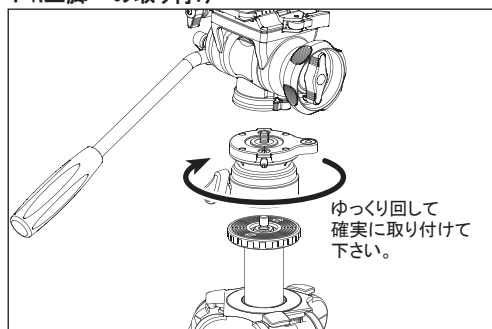


製品仕様

	ML-6
アッパーベース径	55mm
高さ	47mm
底面径	55mm
調整角度	±16°
質量	237g
推奨積載質量	6000g
三脚取付ネジ穴	UNC1/4, 3/8両対応

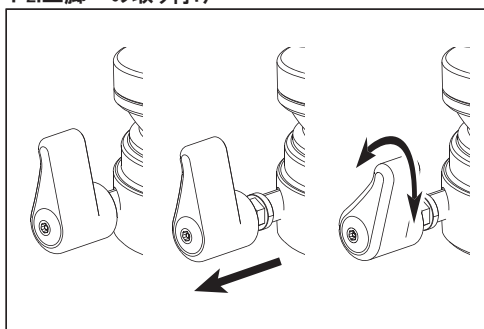
※記載の数値は平均的な値です。製品は組合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。
※製品改良のため予告なしに仕様・デザイン・諸元などを変更することがありますのでご了承下さい。

1-1.三脚への取り付け



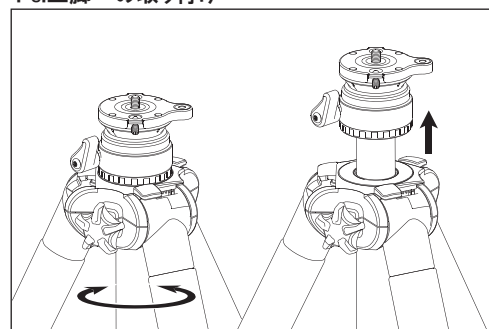
本製品は雲台と三脚の間に挟むように取り付けます。本製品のストッパー類および三脚のエレベーターストッパーをしっかり締めた状態で、上図矢印方向に本製品全体をゆっくりと回し、確実に取り付けして下さい。その上に雲台を取り付けます。

1-2.三脚への取り付け



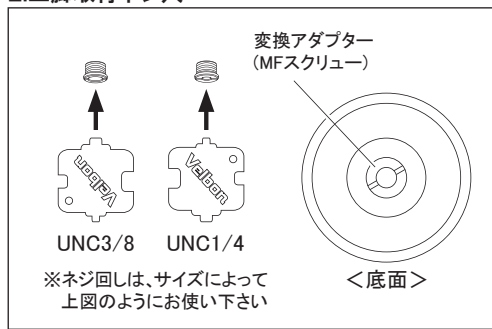
ストッパーのつまみは、引っぱって軸からずらし、そのまま引きながら空回りさせると、向きを変えることができます。調整して使いやすい位置に合わせて下さい。

1-3.三脚への取り付け



ストッパーが三脚のボディや雲台等に干渉してしまう場合、(可能なら)三脚のエレベーター自体を回すか、エレベーターを少し上げて隙間を作るなどして、調整して下さい。

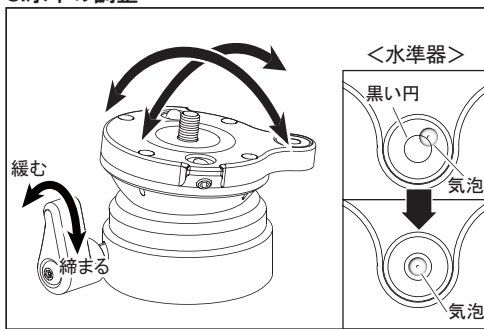
2.三脚取付ネジ穴



本製品の三脚取付ネジ穴はご購入時はUNC1/4インチ(細ネジ)用となっています。UNC3/8インチ(太ネジ)の取付ネジを使う場合は、付属のネジ回しでMFスクリューを交換して下さい。
※MFスクリューは緩み止め処理がされていますので固めています。

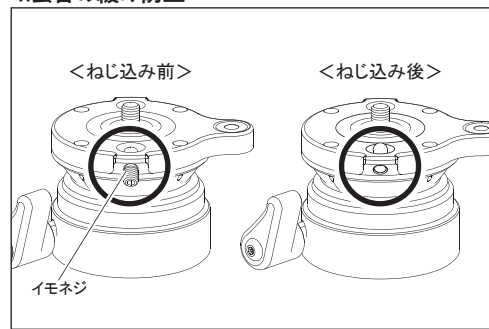
⚠ 使用前に、本製品および雲台が確実に固定されている事を確認して下さい。

3.水平の調整



ストッパーを上図矢印方向に緩めると、アッパーベースが自由に動きますので、水準器の気泡が黒い円内に収まるように調整して下さい。水平調整が終わったらストッパーを締めて固定して下さい。

4.雲台の緩み防止



操作中に誤って雲台が緩むことを防ぐための「雲台固定用イモネジ」が付属しています。必要に応じて、アッパーベースの下から同梱の六角レンチでねじ込み、雲台の底面に突き当てて下さい。

⚠ イモネジの機能上、雲台底面に傷が付くことがあります。また雲台底面が(肉抜き等で)平らでない場合は、正常に機能しないことがあります。

0165-00

(修理受付)

お客様ご相談センター

〒408-0205
山梨県北杜市明野町浅尾新田12
電話: 0551-25-6155
E-Mail: jpsupport@velbon.com

保証書

商品名 ML-6
お買い上げ年月日 平成 年 月 日
西暦 年 月 日
保証期間1年(お買い上げの日から)

ご購入店名

お客様 様

住所

住所

電話

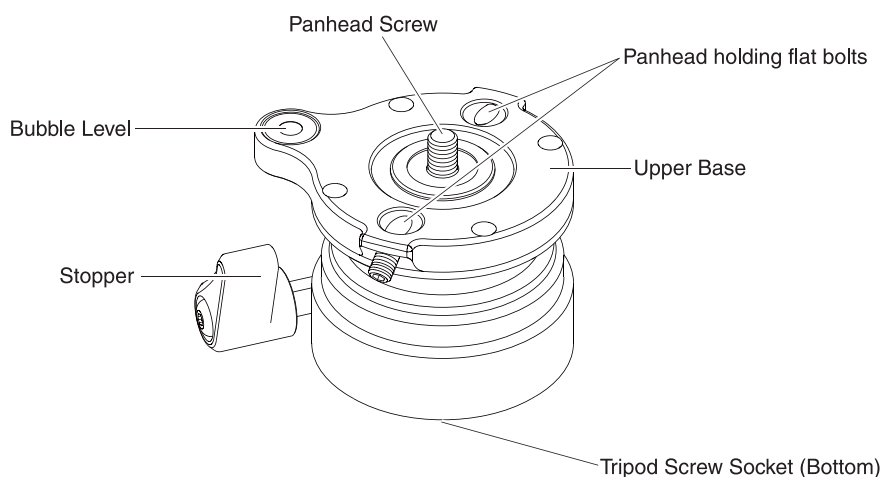
印

本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間、当保証規定により保証サービスが適用されます。

※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認下さい。

Identification of main parts

Thank you very much for choosing Velbon product.
Please carefully read this manual before starting to use so that you can handle this product correctly.

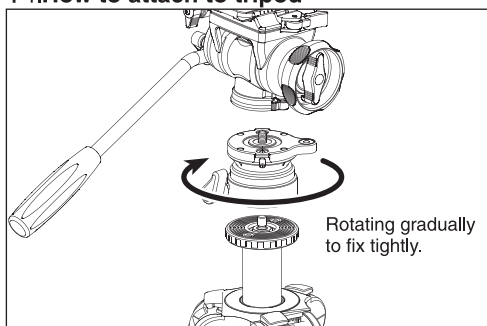


SPECIFICATION

	ML-6
Diameter of Upper Base	55mm/2.17inch
Height	47mm/1.85inch
Base Diameter	55mm/2.17inch
Adjustable Angle	±16°
Weight	237g/0.52lbs
Suggested Load	6000g/13.23lbs
Tripod Screw Size	UNC1/4 & 3/8

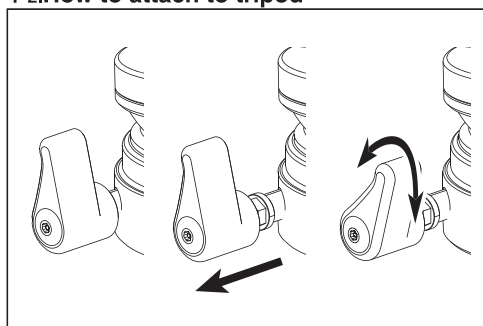
※The manufacturer reserves the right to change specifications, design, and size without prior notice.
※These numbers are based on the drawings. Actual sizes may be slightly different from them due to the assembled parts.

1-1.How to attach to tripod



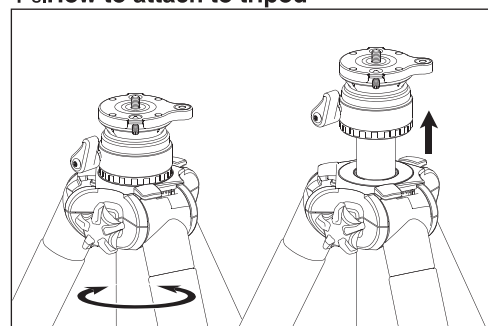
This product is bound between Panhead and the Tripod. Please make sure locking all the stopper knobs and the elevator of the tripod. Then rotate gradually to the arrow's direction in the above drawings to fix on the tripod tightly. Then install the Panhead on the Upper base.

1-2.How to attach to tripod



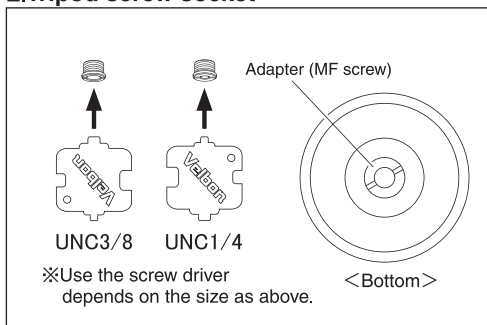
Pull up and turning while the stopper knob is floating, enables to change the direction to obtain desired position for easy use.

1-3.How to attach to tripod



In case of the stopper knob touches to the other part of the tripod or head part, please lift up the elevator and also rotate (if possible), in order to make any space and adjusting.

2.Tripod screw socket

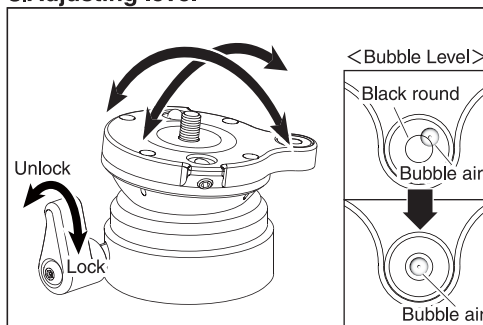


Originally when shipped from the factory, the screw size is UNC 1/4 is installed. Please use the driver included in the package to remove the screw and adapt UNC3/8 inch MF screw when necessary to change.

※MF screw is given lock tight glue. So it is even tightner other parts.

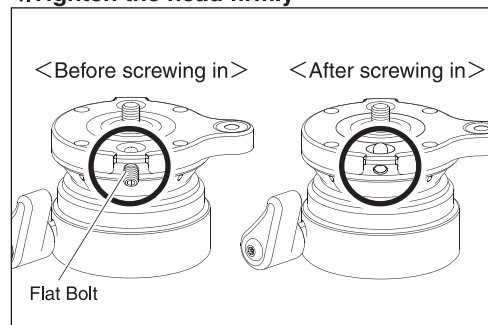
⚠ Please make sure if this product is combined well to the tripod or head before starting to use.

3.Adjusting level



Unlocking the Stopper to the arrow's direction as above drawings, then Upper base becomes free and adjustable bubble air to the center of the whole unit. After adjusting is completed, lock tightly.

4.Tighten the head firmly



In order to prevent from loosening the head while operating, there are one pair of the flat bolts are included in the package. Please use these bolts by inserting from the bottom side to the base by the hexagonal wrench which is also packed with together. Stick the bolts to the base and brace for not rotating any longer.

⚠ It may scratch the surface of the pedestal part by tightening from the bottom. In case the panhead base is not flat, it may not work well. 0166-00

<保証規定> (For Japanese Market)

- 保証期間はご購入日から1年間に致します。
- 修理の際は必ず本保証書を添付のうえ、ご購入店または当社お客様ご相談センターにお申し出下さい。なお、ご購入店または当社お客様ご相談センターにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。
- 保証期間内に発生した自然故障または破損に関しては、無償修理致します。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。

- ①本保証書の提示が無い場合。
- ②本保証書にお買上げ年月日及びご購入店名(印)が無い場合。
- ③使用上の誤りや不適切な取り扱い(例えば落下)の場合。
- ④不当な修理や改造による故障・損傷の場合。
- ⑤火災・水害・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
- ⑥保管上もしくは手入れの不備等による故障及び損傷の場合。

- (5) 保証の対象となるのは製品本体のみで、付属品類(ベルト・ケース等)は保証の対象とはなりません。
- (6) 本製品の故障または破損等に起因する付随的損害(撮影した画像データや動画データの消失、撮影によって得るであろう利益の損失、撮影に要した諸費用や時間、精神的な損害等)の報償には応じかねます。
- (7) 本保証書は紛失されても再発行は致しませんので、大切に保管して下さい。
- (8) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- (9) 本保証書は以上の保証規定により無償修理を行うことをお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製造・販売 サービス **ベルボン株式会社**

〒165-0027 東京都中野区野方6-1-5
電話: 03-5327-6133 FAX: 03-5327-6114
ホームページ: <http://www.velbon.com>

Velbon

Safety Precautions

Please observe.

In order to use this product correctly/safely, please read this carefully before use and understand the contents. After reading, please keep this. In order to prevent you and other people from danger and damages of property, please read and observe this. The followings are explanations:

■ Ignoring the contents of indication may cause wrong use of products. Wrong use of products may cause harms and damages. The following indications express degrees of harm and damage.

	Warning: The column of this indication means that there is possibility of death or serious injury.
	The column of this indication means that there is possibility of injury or physical harm.

■ The following indications mean the contents of category.

	This means "must not do".
	This means "must do".

Caring • After-sales service

- After use of the products, wipe it with wet cloth. Then wipe it with dry cloth and keep. In particular, after use of the products at the seaside, area of hot spring and so on, cleaning is necessary. Non-cleaning may cause rusts and troubles.
- In case tripod is wet by rain, etc., wipe it with dry cloth. Make sure that it is completely dry, especially legs. Extend all the legs and dry them completely. In case leg pipe is wet, severe inspection is recommended.
- Do not use any chemicals such as thinner when cleaning.
- The manufacturer reserves the right to change specifications, design, and size without prior notice.

In order to use Velbon products correctly, safely

Warning

When carrying tripod with spike&rubber feet or monopod with spike&rubber feet, make it change to rubber feet. Or cover spikes by tripod-case or leg-pochette. Exposing spikes is dangerous and may cause accidents of death and serious injury. In crowded area such as inside of commuter trains, this warning is extremely important.	Ideal load is set as to tripods. Weight of camera must be lower than "ideal load". If the weight of camera is 2 times heavier than the weight of tripod with panhead, its stability would be extremely bad. This may cause tripod to fall. Falling may cause accidents of death and serious injury. Bad stability causes also camera shake.
When operating panhead or extending/retracting legs while camera is set on its panhead, holding camera by hand is necessary. Unexpected sudden movement of camera and tripod may cause damage of camera or injury of fingers by pinching on tripod. Depending on shapes of camera and lens, maintaining balance is difficult.	When you set up tripod, do it with prudence. Pinching finger or hand may cause injury. Also, confirm that all locking devices and stoppers are tightened. If tripod contracts unexpectedly and falls, camera may be damaged. Read operating manual beforehand and set it up while confirming.
Tripod is equipment for picture-shooting. Never sit on it. These deeds may cause tripod to fall, which may cause injury or death. Never use monopod as cane, either. These deeds cause contraction of monopod and may cause unexpected accidents.	In case using tripod on unstable place such as wobbling table, unlevelled ground or slanted ground, do it with prudence. In particular, in case of high places, falling on head or leg may cause serious injury or death. Before setting up tripod, confirm if the places and surrounding conditions are good.
As tripods and monopods are composed of metal and carbon fiber, the products electrify. Do not use the products in the vicinity of things that carry electricity, like high-voltage cable, etc. Furthermore, in case of possibility of thunderbolt, do not use the products. Stop shooting pictures in those areas and evacuate speedily.	Small children should not touch tripods or monopods. Store those equipments in places where small children can not reach. There is a possibility that those equipments pinch their fingers or hands. In that case, children may face serious injury or even death accident. Additionally, products with belts and straps may wind around children's necks. So store those equipments at right places.
Do not leave tripod with camera on unstable place or lean it against walls. There is a possibility that tripod falls and is damaged.	When using tripod, open three legs fully. If opening is not enough, tripod may fall unexpectedly and falling may cause injury or damage. Also, using tripod unstably causes camera-shake.

Caution

Do not carry tripod or monopod which is set up with camera. If force more than expectation occurs, there is a possibility that camera may fall. In particular, carrying tripod or monopod attached to camera on your shoulder is very dangerous because you are not able to see camera. When moving, undo camera from tripod or monopod.	Products can be used in temperature range from zero centigrade to 40 centigrades. If temperature exceeds 40 centigrade, oil-leak may occur. If temperature falls below zero centigrade, movement of panning and tilting may become heavy. In that case, performance is not sufficient. Do not leave equipments in very warm and humid places, in places of the direct rays of the sun, inside of cars, etc. Those may cause troubles.
All stoppers should be tightened all the times except occasions necessary. If a stopper is loosened, it may cause falling of tripod or damage of camera. Carrying those equipments without tightening a stopper also may cause to lose a stopper.	In case of picture-taking in winter time or the cold latitude, there is a possibility that metal parts may be frozen. Do not handle it by bare hands. Wearing gloves for photograph is recommendable.
Do not replenish oil, grease, etc. to the part of tripod and panhead. Replenishment of oil, grease, etc. may cause insufficient performance. In case insufficient performance is noticeable, ask the distributor.	Do not use product when it is wet or sandy. If using it in this condition, water or sand may penetrate the part of movement and may cause troubles. Wipe and clean it with dry cloth. In case leg pipe is wet, wipe it firstly and dry it well.
If leaning tripod or monopod against wall at the condition of thin posture like closing legs, tripod or monopod may fall unexpectedly. That is dangerous. Store tripod or monopod at the condition of stability like letting them lie.	In case the product has never been used for a long time or important occasions of picture-taking, inspection of each important part of the product must be done beforehand. In order to maintain high performance of the product, it is recommendable to inspect the product periodically like 1 or 2 years of time.
Levels attached to tripods, panheads and accessories are good enough for picture-taking. But they are not adequate for measurement or service.	If the panhead is detachable from the body, changing panhead is possible. Firstly, tighten all the stoppers firmly and turn the whole panhead anti-clockwise. The panhead comes off from the body. When doing these processes, keep face off the panhead. Handle of the panhead or others may hit the face. Take good cautions when operating it.
Do not disassemble or soup up products. Abnormal movements may cause injuries and damages of equipments. In case of soup up products, warranty does not apply.	